

## 平成 19 年度第 11 回上田城南地域協議会会議録

日 時 平成 20 年 3 月 13 日（木） 午前 9 時 30 分～12 時

場 所 上田市城南公民館 2 階大ホール

出席委員 石井委員、石黒委員、石坂委員、掛川委員、木内委員、酒井委員、  
竹内順一委員、竹内秀夫委員、竹田委員、田中明委員、田中千寿子委員  
土屋委員、中澤委員、中島委員、中村委員、西川朋子委員、西川良幸委員  
増田委員、宮崎委員

市側出席 宮下政策企画局長兼上田地域自治センター長、古川まちづくり協働課地域振興  
政策幹、小宮山まちづくり協働課課長補佐兼地域振興係長、唐沢城南公民館次  
長

### 1 開 会（古川地域振興政策幹）

### 2 挨拶

（田中会長）

早いもので私共この地域協議会も委員として選ばれまして、1 年と半年程経過いたしましたが、今まさに終結しようとしているところでございます。いずれにしましても、この地域協議会の果たすべき役割が、色々な部分で完璧に構成されたという風には思いませんが、上田市が目指す地域内分権に向けて、私ども地域協議会としての存在が、これからの上田市でもやはり求められ、またそれが評価されるであろうと考えております。本日を持ちまして 17 回にわたる会議を持ってまいりました。皆さんもお忙しい中、ご賛同いただいたことに関しまして心から感謝を申し上げます。

なお、私共としましては、意見書を提出したところでありありまして、その内容に関して逐次報告がございしますが、一つは城南公民館の移転新築に向けての大きな地域としての課題でございました。次に泉田保育園の移転新築の提案をしまいったところでございます。

こうした部分が行政におきましても、十分ご理解をいただきながら、そして出来るだけ早い期間に、その地元の要望に応えるようなものの実現を心から願っております。

（宮下政策企画局長）

本日は上田城南地域協議会 17 回目の会議ということで、大変ご多忙のところご出席賜わりまして誠にありがとうございます。

本協議会は、平成 18 年 10 月 3 日に立ち上がりまして、先ほど会長のご挨拶にもありましたとおり、17 回目の会議でございます。この間、昨年 9 月の市議会に第一次上田市総合計画が上程されておりまして、議決されたところでございますけれども、その中で地域まちづくり方針につきまして、7 項目の答申をいただき、それに基づき議会にお諮り

して決定をいただいたところでございます。また、2月には市長に意見書の提出をいただきました。

現在日本の国で地方分権という大きな流れがございます。国の権限を県に、県の権限を市町村にといった大きな流れでございますが、この地方分権という流れが地域にまわりますと、地域内分権という名前に変わりますと、様々な取り組みが行政でも行われているということでございます。その中に、この城南地域協議会が位置付けされております。

平成18年に協議会が設置されまして、この20年4月からは地域予算がスタートいたします。そしてまた、22年の4月1日を目指して自治基本条例の制定に向けての取り組みも進めてまいります。最終的には、地域のことは地域で考えて進めるという住民自治の確立を目指しているわけでございます。逆に言いますと、この城南地域のことは皆さんを含めまして、担当職員が地域の皆さんの声を聞きながら予算取りをしていくと、その予算につきましても、土木の予算から農林の予算も含めて、全てこの地域の予算は、この協議会を中心とした皆が論議をして決定をしていくという、そういった流れが最終的な流れでございますけれども、このことにつきましては、まだ全国でどの自治体も実施しておりません。

最終的にそういったイメージで進めていこうということで取り組んでおりまして、その流れの中で、今上田市は先頭を切って進めているということでございまして、私共職員としましても、先の見えない中で進めておりまして、皆さん方にも見えづらい、分かり難いというようなご指摘をいただく中で進めているのが現状でございます。今後密に連携をとる中で、分かり易い形をお示しする中で、ご理解いただいてまいりたいとこんな風に考えておりますので宜しくお願い致します。今この平成の地方分権の流れでございますが、一番最初は明治維新が一つ目の大改革になったと言われております。二つ目が戦後の改革であります。今回が第三の改革という中で事業が行われていくということで、ご理解をいただきたいと思っております。

本日まで17回にわたりましてご議論いただいております。本当にありがとうございました。今後この4月から第2期の皆さんがスタートするわけでございますが、委員の皆様方におかれましては、今後ご健康で、また地域でのますますのご活躍を祈念いたしますとともに、ご家族のご多幸をお祈り申し上げまして、まずは御礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

〔宮下政策企画局長から田中会長へ意見書の回答書が提出される〕

(古川地域振興政策幹)

前回酒井委員さんから上田電鉄別所線の存続に関して企業側の説明を求めたいとのご提案がありましたが、担当課の地域交通政策課では、企業側が今この時期は時間がとり

づらいということ、また市では現在策定中の上田市公共交通活性化プランを地域協議会へ提示する予定があり、機会を見てという申し出がありましたのでご了承ください。

本日都市計画課からの文書と地域協議会の活動を掲載しました公民館だよりをお配りしておりますので、ご覧いただきたいと思います。

### 3 会議事項

#### (1) 意見書の回答について

(田中会長)

それでは会議に入ります。まず最初にただ今回答書を頂いたわけですが、このことにつきまして事務局の方からご説明をお願いします。

(小宮山まちづくり協働課課長補佐)

それでは意見書の回答について、ご報告申し上げます。

- 意見書の回答について説明 -

- 1 上田市城南公民館建替えに係る複合施設としての建設推進について
- 2 泉田保育園の早期新築・移転について

(田中会長)

ただ今報告がございましたが、このことにつきまして、皆さんご意見あるいは質問等ございましたらお願いします。

(竹内秀夫委員)

役所の言葉で書かれており、何をするのか最後までわからない。「検討を進めてまいります。」という部分を我々は受け取るということになるのか。どこまでやるのかということ、私たちの言葉で書いてもらわないと分からない。「検討を進める」などと回答で言っているものかどうか。もう少し平たい言葉でわかり易く説明が欲しい。

(中村委員)

市議会の委員会の中でやることは可決されている。いつ、どのようにという部分が明確になってこない。予算の関係もあるだろうが、概ねこういう風にいきます、というような具体性をもった回答をいただきたい。

(酒井委員)

私も同意見で、この回答であれば最初から市から頂かなくても、このような文書は私でも書けると思う。やはりお願いした以上は、場所的にはどんな風に考えているとか、もう少し分かり易い回答をお願いしたい。

(西川朋子委員)

地域協議会の発足前から住民の意向として、城南公民館、泉田保育園は希望があった。地域協議会の 2 年の話し合いに対して、この回答はとても納得できない。やはり、ある程度経費を掛けて、地域協議会を立ち上げたことに対する意味を踏まえて、それなりの回答が欲しかった。

(宮下政策企画局長)

貴重なご意見を有難うございました。協議会でご検討されて、市の方に対応を求めるといふ流れは初めてのことであり、そういったご意見に対しては、大切に市としても対応を考えたい。

まず城南公民館建替えに関して、一つは地域協議会の活動の拠点として行政的な考え方、そして公民館的な機能とすれば、教育委員会の立場での検討という二つがある。公民館については、現在旧市内では 6 公民館があり、上野が丘公民館がご承知のとおり新しくなり、一番古い公民館が実は塩田公民館であり、20 年度に設計がなされ、21 年度建設予定である。塩田公民館、母子健康センター、地域自治センターという 3 つの複合施設として建設が決まっている。次に古いのが川西公民館であり、こちらも 15 年以上地域要望があり、自治センターと公民館との複合施設という要望をいただいております、建設場所も現在の公民館用地を中心として設置したいということで、地域の自治会連合会を含めて決定がなされている。この城南公民館の建替えについては、用地を新しく求めて建設するというご意見と、この場所というご意見、創造館との併用の三つの考え方があり、回答する場合、地域の意見が一つにまとまっていると、もう少し前向きな形ができるが、その点が明確でないためこういう回答をせざるを得ない。しかし上田市の場合、計画を進めていこうということをも市民の皆さんにお知らせするためのものとして、「実施計画」というものがあり、平成 20,21,22 年の 3 年間でこういう事業に向けて、建設または建設に向けて取り組んでまいりたいというのが、実施計画である。その実施計画の中に、この城南公民館は掲載されているので、建設に向けて積極的に取り組んでいきたいという意思表示をしているところであるため、検討という言葉は役所に都合よく使っているというご指摘は常日頃いただいているが、当公民館については、進めていくということは内部決定しているので、宜しくお願ひしたいと思います。

(田中会長)

今の説明によると、実施計画に掲載されたということは、一つの具体的な役所の取り組みが伺えると私も思う。次の展開はあるわけなので、次の展開の中に、我々の城南公民館をどういう風に書かせるかということになるかと思う。地区の自治会連合会、城南公民館移転新築促進委員会との協働によって、より具体的に位置付けるということが大事と思われる。これが私の感想であるが、皆さんのご意見を聞かせていただきたい。

(酒井委員)

いずれにしても一歩前進したという風に理解をした。回答書の中に数地域から要望書が提出されているとあるが、具体的にはどこか。

(宮下政策企画局長)

現在塩田、川西、城南の3地域から出されています。

(酒井委員)

三つの中で城南が一番下という順位か。

(宮下政策企画局長)

塩田は既に決まっております、20年度の予算が凍結されている。次が川西なのか城南なのかというのはこれから検討ということになる。

(田中会長)

私からお願いというか確認であるが、川西か城南かという順位付けについて、それは立地に関して、地区内で検討して一つに絞れば城南が2番目に浮上する可能性もあるというのは、非常に重大なことである。我々の今の思いを次の協議会の中へ送っていくというのも大事な仕事であり、結論が出なくても、皆さんの思いを事務局に聞いていって欲しいと思う。それぞれ短くて結構なので、全員で一言意見を言っていただき、この問題はひとまず終わりにします。

(竹田委員)

かなり前から話は進めていると思うが、創造館と共存して増築など、その辺もある程度絞られていると思うので、こちら側としても早く一本化して進めたい。この地域は非常に人口増がある人気の地域であることを考えても、早く公民館を建設し、さらにこの地域の魅力もアップしていければと思う。

(田中千寿子委員)

個人的にはこの場所がいいと思うが、今の時代のニーズに合わせて、どうしても駐車場スペースが欲しい。この場所では、もう目一杯で無理かなと思うと、やはりある程度の土地をもった広い場所がいいかと思う。

(土屋委員)

私はこの協議会に入って日が浅く細かいことは分からないが、城南公民館の建替えは大事だと思うし、場所がどこになるかは分からないが一日も早く進めてもらいたい。

(中島委員)

城南公民館に関しては、これほど時間を掛けてやらなければいけないものなのかと疑問を感じながら参加してきた。私が、8年ほど前に城南公民館に関わっていた時代から出てきた話題であり、自治連や促進委員会が長い時間検討し、さらに地域協議会がこれだけ時間を掛けてまとめ上げる意見書であったのかどうか。回答書もこういう形でしかいただけないということを非常に残念に思っている。もっとネットワークを広げる期間を取りながら、強力的に進めていく必要があったのかなと切実に感じている。

(中村委員)

私が農業委員の頃、田中正雄議員が城南公民館を建てるということで話があった。場所的には、殿海道に土地も交渉できるという話があり、それには自治連と、城南公民館

建替えの委員会を立ち上げてかからないと、もし土地の交渉をして、建たらなかった場合、地主に迷惑がかかるということから、今もまだその話がくすぶっている。是非最初立ち上げた時の方法でお願いしたい。

(西川朋子委員)

私も創造館との抱き合わせは嫌だと思う。やはり駐車場が狭いし、城南公民館独自のものを別の場所に建設していただきたいと思う。

(西川良幸委員)

20年度予算では塩田を作るという事で決定したということで、次は川西か城南のどちらかということで、城南は土地や規模で意見統一がされていないという話だったが、次回の順番を決めるのに、早急に自治連や推進委員会と今後協議会等の話し合いで、場所や機能について具体的に検討に入り、それによってこういう風に決まったので、次の建設はここにしたいと働きかけていったらいいのではないかなと思う。

(増田委員)

回答書の中で、はっきりと城南地域協議会ははじめ地区自治会連合会と対策促進委員会、この三つで協働して一本化しないと、市としては動けないと言っている。だからここで創造館がいいとか悪いとかの前に、地域協議会としては早く着工に向けたしかけ作りを考えて、次の委員に渡すのが一番早いと思う。更にこの中に、この三つだけではなく、行政も一緒に入って進めていくというのが一番いいのではないかなと思う。

(宮崎委員)

皆さんのおっしゃったことと同じ意見です。

(石黒委員)

今の城南公民館では、会議の招集しても、2階が落ちる恐れがあるという現状を踏まえて、早期に実現していただきたい。駐車場を広く取っていただくということは、重要なことと思う。作るのだったら、やはり複合施設として建設して欲しい。

(石坂委員)

気持ちとしては、他の皆さんと同意見であるが、質問が三つある。まず全部で3箇所から要望があるということだが、そこ以外のところから要望が上がっても、最低三番目ということは約束されるのか。創造館と共存というのは実際には可能なのか。塩田だけ建設が決定しているということだが、その他の要望に対しては、具体的には何年度から計画なり検討なりがあるのか。

(掛川委員)

確かに市の方とすればいろんな課題があるかもしれない、その中で例えば20年、21年度、22年など年度の中でやっていきたいというような具体的な回答が出てくると思っていたがそれもなく、残念である。

(木内委員)

いつも市からの回答書を見ても行政は行政なりの考えで書いて、こんな風にしか書け

ないのかなと思う。もう少し突っ込んで、先ほどの意見のように、私も城南は本当に 3 番目には入るのかなと思っています。

(酒井委員)

今信毎記事に、松本の大きな箱物の維持費の問題、佐久の大きな会館の建設予定、市民からは、その維持費はどうするのかということで掲載されている。

この施設は狭い、床が不安だということがあるわけだが、あまり大きなものを作って返済が子や孫にいくより、住民本位で意見を聞きながら進めてもらいたい。もう一つ、この場所は絶対ダメだとは思っていない。例えば 1 階を駐車場にするとか、そういったことも考えられる。

(竹内順一委員)

今回の回答書には本当がっかりした。こんな回答が出てくるのなら、何をやっていただろうと思う。最後にセンター長が言われた条件について、地域で統一された意見が出てくれば早いですよ、ということを知り余計にがっかりした。一年半の活動の間に、そういう市からの指導が一度もない。次期の委員の方々には、こういう事も踏まえて、一つレベルアップした協議会ができると思うので、いい勉強をしたという意見である。

(竹内秀夫委員)

個人的には、道と川の駅に複合施設という形で建設していくというのがベストだと思っている。ただ、それは協議会で決めるような話ではなく、協議会を始めとして自治会連合会、新築促進対策委員会、例えば道と川の駅という話が具体的になっていくとすれば、そちらに関わっている団体が、同じテーブルにつけるような場を少なくとも来年度に向けて作っていかないといけないという事だと思う。

(田中会長)

事務局に対して今結論が出ずとも、今の委員の皆さんの意見を記録に残していただき、今後の参考にして頂きたいと思う。竹内委員の意見の通り、ここまでくれば単に地域協議会で云々できる話ではなく、一番は 10 年に及ぶ対策委員会が既にあり、城下地区、川辺泉田地区の連合自治会もあり、そういう皆さんと協働しなければならないという気持ちは伝えてある。そのようなことを材料としていただき、次の展開に進んでいただきたいので宜しくお願いします。

(宮下政策企画局長)

ありがとうございました。市の施設を作る場合一番大切なのは地域の情熱ということだが、これについては 10 年以上熱い思いがあるということは行政でも認めている。あとは施設の利便性の確保ということだが、条件整備が整っている地域からということもあり、回答書に対して不満足という話もあるが、市とすれば総合的観点の中で回答を申し上げるしかなかったということ、まずはご理解いただきたい。この施設はあくまでも教育委員会の施設であり、教育委員会としての公民館機能でいいのかどうかということ

を、是非 2 期目の協議会の中でご議論いただきたいと思います。旧市内には 6 公民館があるが、人口規模でいうと中央公民館 38,000 人に次いで、二番目 28,000 人である。従って、より多くの方が居住されている地域という意識の中で、公民館機能だけでいいのかという議論もある。先ほどの地域内分権という中で、ここに支所機能を入れるということも含め、また子育て機能、健康機能といったことも含め、次の段階の議論をしていきたいと考えている。場所の選定もあるがこういった機能としての議論も、これから進めてまいりたいと考えているので、よろしくお願いします。

( 田中会長 )

ありがとうございました。それでは次に回答書の二番目ですが、保育園に対する建設に係る回答書がございます。このことについて質問、ご意見等あるようでしたら発表してください。

( 中村委員 )

保育園の合併の件について、小泉の方がいいのか吉田の方がいいのか、双方で言い合いになっていると聞かすが、この辺りの行政の考えはどうか。

( 古川地域振興政策幹 )

先般保育課から話をお聞きして、いずれにしても泉田保育園は非常に古くて危ないということで、建て直しの計画を当然持っているという話だが、地域の皆さんの話では兄弟で別々にされ、次に進む学校が分かれてしまうということがあり、選択肢が難しいという話だった。ただこの城南公民館建替えと同じように、地元の考えが一つにまとめれば早めに手をつけることができるということで、住民説明が難しいが努力をしたいということで、地域の協力を求めていきたいという話だった。

( 西川朋子 )

最終的に中学になると、六中に皆が集まっている。それを論議すること自体不思議だが、以前六中と給食センターの間に土地があり、そこに泉田保育園が来るといわれていて、地元はそう受け取っている。そこまで具体化されているので、後は地元要望で即具体化するという感覚で受け止めていたところである。

( 西川良幸委員 )

市とすれば、小泉保育園と泉田保育園は一つにまとめて作りたいという考えがあるのか。

( 古川地域振興政策幹 )

泉田の皆様が、自治会連合会に話をして、泉田の皆さんの方の意見がまとまっていると聞く。小泉も私共にも欲しいということで、その辺がまとまらないということだが、たまたまこの地域に人口が増えているということで、減ってきている地区と統合して一つというのが理想なのではないかという考えはあるようだが、住民の皆さんの合意が得られないと先に進まないということで、皆さんの気持ちが一つになれば進めていきたいという考えはあるようです。



(石黒委員)

現在小泉保育園は20数名で、来年度は10数名になると予想されており、10数名の為に新たに保育園を建てるというのは考えられない。既に土地があるのならば、そこで考えていただきたいと思う。

(西川良幸委員)

市では、一つにしたいと受け取ったが、そういう意向があるのなら、市の方からこういう考えなので、地元の意見を一つにして欲しいというご指導があっても良かったのではないかと私は思う。

(竹内順一委員)

私は生まれが小泉で、今は上吉田にいるため両者の気持ちがわかるが、吉田は後から来た方が多くなっている。浦里小学校は人数割れしても、存続していくものと思われる。一般的にこうなんだからと、地元の意見がまとまらないではなく、方向性がわかっていることに関しては、市がもっと逆に提案で強く言うてはダメなのか。やはり規定の30人程度が何クラスもあり、その中で競い合って成長するものと思うし、統合すべきだと私は思う。

(田中会長)

保育園の問題に関しては、色々ご意見が出ているが、これに関しても次の協議会の皆さんが引き継いでいくと思われる。

意見書の回答に対する質疑応答とご意見は、ほぼ出尽くしたと思っているがよろしいですか。

了承

- 休憩 -

(田中会長)

それでは再開いたします。本日は私共の意見書に対する回答をいただき、その回答に対する皆さんの質問やら意見をいただいたわけでございます。全般的な今までの流れの中で、センター長から全体的なことに触れていただければと思っております。よろしくお願ひします。その後記念撮影を予定しております。その後時間がございますので、皆さんのご意見感想を、そして最終的に中澤副会長に締めていただき、私共第一期のこの会を終わりたいと考えております。

(宮下政策企画局長)

意見書の提出をしていただきました。市内の9つございます地域協議会から18件、提出されることになっております。今日の午後も川西地域協議会から、公民館と地域自治センターの複合施設の早期建設を求める意見書が提出されることになっております。こ

の3月議会の一般質問でも質問が出ておりますけれど、真田の図書館につきまして若干ご紹介させていただきます。真田の図書館については、現在はございません。その中で、合併前から基金を積み立てて図書館を建設したいということで、真田の地域協議会から図書館の建設についての要望が出されております。その要望に対しまして、市としては現在真田役場、現在の真田地域自治センターの1階フロアを使って、大きな図書館を建設したらどうかということで、地域協議会へ回答いたしました。

今議会でも説明いたしましたし委員会の中でもご説明申し上げましたが、地域の要望につきましては、最大限尊重して進めるというのは基本であります。その考えの中でよりよいものがあれば、地域にとってまた行政としてこういうことも考えられるということがあれば、キャッチボールをしながらより良い対応を進めてもらいたいということで、お話をスタートしたところでございます。その中で真田地域協議会とすれば、各PTAや図書館を利用されている皆さんを含めて、様々な団体の皆さんと会合する中で、市が示した案がいいのか、それとも新しい建物を作ってそこを拠点にするということで、議論がスタートしたところでございます。こちらの城南地域協議会の意見書につきましても、一方通行でそれを説明受けてということではなく、やはり行政と協議する中で、より良い方向を見出していきたいということでございますので、その点につきましては、ご理解をいただきたいということでございます。従って、こちらの公民館の建替えのお話は、新しく土地を求める場合のメリット、デメリット、ここで建替えする場合のメリット、デメリット、それから創造館の施設を使って、例えば長池がありますが、あその池をもし潰すことが可能ならば、そこに駐車場を新たに設置して、公民館機能があの中に入ってくるのではということも含めて、総合的に話をしていかなければいけないと思います。

もしこの4月以降も、そういった可能性も含めて活発な議論を進めてまいりたいと考えておりますので、宜しくお願ひしたいと思います。

(田中会長)

ただ今のお話の中で創造館という選択肢が一つ出ました。このことにつきましては、対策委員会をはじめ皆さんに色々議論をいただいているところでございます。その中で先ほど中村委員が心配されていた殿海道の件につきましては、それに関わっていただいている皆さんには、大変今きつい立場にいらっしゃるわけですが、先ほども創造館に併設されることに関して、具体的なメリットが何かあるかという話でしたが、駐車場については、池の利用そしてまた周辺に対する整備に関しては、現倉升自治会長の竹内さん、それから公民館長の原さんとも話す機会がございました。その中で、この場所がこの地域にとって一つの選択肢として、非常にいい効果があるとするならば、地元としては十分協議に入っていきたいというようなお話を聞いてございます。大きな建物を新しく建てて、それを維持していくことの大変さは、色々な分野で議論されております。当然創造館が、ある意味では広域連合の中では有利な状況下と思われれます。その場合、創造館

の部分に私共の公民館がそこに吸収されるとかということではなく、活用することによってより、良い地域になる可能性があるならば十分検討する価値はあるかと思っております。一つの公民館におよそどの位かかるという試算も当然あるわけですから、城南公民館があそこへ行くことによって予算を小さくしてということではなく、当然かかるであろう住民一人あたりどの位面積が必要で、そこに費用がどの位とするならば、その費用はそっくりそのまま持ち込んで、より立派でより皆さんにご利用いただけるものを私共は強く要望していけばいいと思います。この次の会が継続されるわけですから、その中に私共のメッセージとして、私共の思いが引き継がれていくなれば、それはそれでいいのではないかと私はそう思っております。

〔記念撮影〕

(2) 上田城南地域協議会に参画したこと（意見・感想・反省等）について

（田中会長）

それでは皆さんから、1期2年間、協議会委員としてご協力をいただき、次に活かしていくわけですが、振り返って感想などを述べていただき、この2年間はどうだったといったことをお聞きしながら、この会を閉じたいと思います。

（酒井委員）

その前に会長にお許しをいただいて2つほどお願いしたいのですが、まず先ほど古川さんから別所線については、また機会を見てというお話でしたが、上田市民としてやはり別所線は存続していただき、通勤通学だけではなく、やはり観光の目玉として別所線は必要だという風に思っており、今まで上田市は別所線に対して補助金は出しているけれども、市民に対して別所線はこういう風にやりたいから市民の皆さんも協力してくださいという姿勢が全然見えない。たまたま先日商工会議所でも、4月から新年度事業計画予算案が審議されましたが、その時も役員から商工会議所でも協力するのに別所線はどういう姿勢でいるのか、というのを表明してもらう必要があるのではないかという強い発言がありました。機会を見てというのは、役所言葉でいうと善処するとか、前向きにとか、期限が分からないわけで、機会を見てではなく、年度末で忙しいのは我々も同様なわけで、6月頃までに是非会社の姿勢、努力、方向性の発言があってもいいと思いますので、是非早急にやっていただくということをお願いしたいと思います。

もう一点、3日程前から東信ジャーナルの紙面に、新上田市発足から2年の9地域協議会長の声ということで出ているのですが、田中会長の意見は、明日の新聞に出てくると思います。その中に「市は平成20年度から自治会や団体への補助で各地域協議会が選考するわがまち魅力アップ応援事業を導入し、今後の地域内分権を進めていく。」ということが書いてあるわけですが、わがまち魅力アップ応援事業は、市としてどんなようなものを想定しているのかお聞きしたい。

(古川地域振興政策幹)

別所線の関係は、地域交通政策課が担当課ですので、私共も申し入れまして、酒井委員さんのお話はやはり必要なことと、私共も納得しなければいけないところがありますのでお願いをしていきたいと思えます。

わがまち魅力アップ応援事業の内容につきまして、前々回酒井委員さんがお休みになった時に内容の説明をいたしまして、資料の方は、私が直接お持ちしたかと思えますが、また来年度4月から始まる地域協議会で、事業について審査をしていくというような方法になります。今までも色々な事業を進めてきたわけですが、やはりあちらこちらから補助金が出ておりますけれど、それを市としては一本化して地元が元気になるというような形で、まず自治会、それから自治会連合対象のもの、それから有志を対象にするものというような設定となっております。

(田中会長)

では最初申しあげました通り、感想など発表してください。

(宮崎委員)

2年間お世話になりましたありがとうございます。私としては、一番最初は地域協議会というのは、何を話し合っていくところなのかというのが見えなくて、何度も自分の中で色々考えてきたんですけど、最終的には保育園の関係が意見書として取り上げられて、その点では良かったかなと思えます。まだ、これからまちづくりについて自分たちが進めていくという立場で、いろいろと考えていきたいと思えます。ありがとうございました。

(増田委員)

2年間ありがとうございました。2年間仕事で出席できない時もあったのですが、参加させていただき、今回は意見書の回答も頂き、この協議会として何を中心に進めていったらいいのかということが見えてきたような気がします。城南公民館の建替えのことについても、これからこの協議会の中だけのことでなくて、もっと他の団体とも協働してまとめていかなければいけないということですが、本当に課題は大きいと思えます。2年間色々勉強させていただいて、すごく自分でも為になったと思えますし、また2年間この協議会に少しでも関わって、課題等解決していくために、何か他の場所でお手伝い等できればいいかなと思えます。ありがとうございました。

(西川良幸委員)

私は、去年のちょうどこの3月の会議から参加させていただきまして、最初はこういうことを協議しているということに非常に不安に思ったり、動揺したりよくわからないでいましたけれど、この会議に出させていただいて、この地区が抱えている諸問題は、非常にたくさんあるんだなということを改めて認識させていただきました。わずかだけれども、少しはこの地区のために役に立てたかなという風に今思っています。

今後のことですが、先ほどもありましたように別所線の問題など、この地区の協議会

だけの問題でなく、やはり塩田方面の地区の問題でもありますので、そちらの協議会の方ではどんな意見が出ているのかなというようなことも、城南協議会の方に報告していただければ良かったかなと思います。やはりいくつか協議会はあろうかと思いますが、それぞれの協議会で出されている意見も、たまには出していただいて共通の意見を持つということもあれば、お互いに話し合っていく機会が生まれるかと思います。私自身としましては、この会に出させていただきまして、初めてお会いした方ともお話できて、更に自分を取り巻く人間関係がいくらか広くなったかなという風を感じております。ありがとうございました。

(西川朋子委員)

2年間色々お世話になりました。私も最初のころは、何をやっているのか本当につかめない状態で、一体ここに座っていていいのかなということを何回も感じたことがありました。今回このように意見書を提出し、回答書をいただいたことによって、地域協議会に関わったことで、本当に地域の実情を会議の中から色々知ったことが、私にとっては目先が広がったような気がします。ちょっとここで一言言わせていただきたいのですが、先ほどの保育園の件で、近所の方が入るときは地域の定員オーバーで小泉保育園へ入って欲しいと言われ、学校が違ってしまいが仕方ないということになったのですが、3年後泉田保育園が定員割れなので、よかったら泉田保育園へ戻りませんか、ということで園の方からお話があったそうです。本当に市として失礼なことをやるなど、子供の気持ち、親御さんの気持ちを一体どう考えているんだろう、最初学校が変わってしまうということだけで困るなあと心配して入ったのに、今度小学校の関係でもいいと思いますから、移ったらどうですかと言われたということです。子育て支援など色んなことを行政は言っていますが、本当に一番近い子ども個人の気持ちというものを何も考えていない行政にとっても不安を感じました。色んな意味で勉強させていただいたことが、私が不満を募らせないような行政をやっていただきたいなということが、今回感じたことでございます。ありがとうございました。

(中村委員)

2年間本当にありがとうございました。ここへ参加させていただいて、城南地区にはさまざまな問題があるんだなあということがまず第一に感じたことです。それから実際にテーマに取り組んでいく中で、協議会、自治会、それから一つの問題に対してもコミュニケーションをもっと細かくとらないといけないかなという風につくづく感じました。これから、この城南地区は非常に人口が増えるということは目に見えています。生徒数が増えて、学校を移ってもらってどの地区がということ、そういうこともやっていかななくてはならないという事情のようです。これは学校の協議会で、校長から聞いた話ですが、年々増えているということは間違いのないようです。年々15人くらいずつ増えてるということが実情のようです。もっと真剣に問題を考え、これからはやっていただきたいという風に思います。2年間何もできなくて恥ずかしいですけれども、そういうことでよ

ろしくお願い致します。

(中島委員)

私は、公募で協議会のメンバーに入れさせていただいた一人です。公募した理由は、自己中心的な今の社会の流れの中で、人間関係の希薄が叫ばれているわけですが、この地域に住んでいても知らないことがたくさんあるわけで、この地域内を実際に歩いてみたりしながら、地域の実情を知ったうえで地域課題をそこから見つけ、その解決として具体的な取り組みとしてどんなことができるかというようなことを話し合っていくのかなということで、応募させていただいたわけですが、実際に私が考えたことは、例えば美しい地域づくりに向けて何か取り組めることはないのかなとか、社会育成に関する具体的な取り組みとして私たちはどんなことができるのかなとか、高齢者問題に関して自分にできるようなことはどんなことがあるのかなとか、行政に頼らないで地域住民の自主自立を目指したまちづくりをしたいというような思いが強かったわけです。実際に参加してみて、話し合われた内容は、私にとりましては非常に大きな課題だったのですが、課題解決に向けて地域協議会だけで話し合っていたのでは、到底解決が図れないようなものがあるのかなということを切実に感じて、自分の考えをほとんど述べることができないうまま、一年数ヶ月が過ぎたような気がします。大変失礼な発言かもしれませんが、私が最初に抱いていた夢とか希望というものが、ほとんど実現できなかったといえますか、参加して充実感、満足感が得られた会議だったのかなと振り返ってみた時に、とてもそういう風なところには及びもつかなくて、今振り返ってみてとても情けなく思うところを残念に感じているのが現状でございます。

(土屋委員)

私も今日で6回目の会議になったわけですが、こういうところへ出てきているような意見を聞いたり、今はこういうことを課題があるとか、そういった面について詳しく説明などをいただきました。私も本当に6ヶ月ばかりなので、よくわからなかったですけど、これからもまたよろしく申し上げます。

(田中千寿子委員)

何をするのか、何を話し合うかも知らずに受けてしまいました。2年経ち、各地域で抱えている問題がほんの少しわかったのかなと思っています。ありがとうございました。

(竹田委員)

色んな諸問題が地域内にあるということで、早く色んな問題を発見して、早期に解決していくということで、行政の方からもいろんな情報を早くいただいて、何か問題が起きてから解決していくのではなく、早くいろんな問題に立ち向かっていきたいと考えております。どうもありがとうございました。

(石黒委員)

大変お世話になりました。ありがとうございました。この協議会が地方自治のためのスタート地点ということで、つつがなくできたことが、私にとっては本当に光栄に思って

おります。皆様のご意見をお聞きしたり、協議させていただくことが本当に幸せだったと思います。城南公民館新築の問題とか、泉田保育園の問題とか、2つの意見がまとまり行政から回答書をいただけたということが収穫だったと思います。大変お世話になりました。ありがとうございました。

(石坂委員)

初めは地域協議会というものの自体がよくわからなくて、いまだによくわからないでいるところもありますが、来て見たら偉い人たちばかりで、会議に出てくるのもちょっといやだなと思った時もあったわけですが、分科会に分かれてお話をしたりとか、また意見書をまとめていく上で、案を話し合ったりしていくうちに、最後になって皆がまとまれたというか、少しはそうやってきたかなと思えるようになりました。貴重な経験をさせていただきました。2年間ありがとうございました。

(掛川委員)

地域協議会の委員ということで、手を挙げたわけですが、やってみて私の意見が役立ったかどうかということに関してはどうかということもあります。良かったことは、皆さんと色々な意見交換ができた、自由に言わせていただけたことが良かったのではないかと思います。先ほど少し申し上げましたけれど、協議会の意見としては本当に地元の色々な意見がある中でも、大事なことが挙がってきているんだと、そういう意味で受け止めていただきたいということを行政の方にお願います。ありがとうございました。

(木内委員)

大変お世話になってありがとうございました。最初の頃は7項目で分科会がありまして、最後は4項目に分かれて、田中会長は素晴らしい情報をお持ちで、私たちが今まで興味を持ったことがないようなことを会長から伺って、すごく勉強になったと思っています。本当はこれで終わりのはずなんですけど、また来期もということになっておりますもので、また色々な意見を聞かせていただいて興味を持ちながら勉強していきたいと思っています。

(酒井委員)

私は2年お世話になったわけですが、多分この20名のメンバーの中では、私が一番欠席が多かったかなと思っています。私とすれば、今までの知り合いではなくて新しく多くの方と知り合いにさせていただいたと、ここに御礼を申し上げさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

(竹内順一委員)

どうも長いことありがとうございました。他の協会関係の会議とか、自治会にはいるんですけど、こういう意見の活発さとか、意見を言う人、言わない人はっきり分かれるところがあって、この協議会の良かったことは、皆さんがそれぞれ色々な意見を出され、私も知らなかったことがたくさん出てきました。そんな中で、こういう形に最

終的にはなったわけですが、これからも協議会をレベルアップして進めていただきたい  
と思います。

(竹内秀夫委員)

まちづくりの基本というのは、人との話し合いだという風に私は考えていまして、そ  
ういう意味では、普段知り合うことができなかつた皆さん方にお会いして話ができた  
ということが、2年間が一番の収穫だったなと感じています。それから協議会の目指すべき  
姿というのは、先ほど中島さんがおっしゃったとおりだという風に私も感じております。

今までは市の諮問に対して、答申を作っていくということが、かなりウエイトが大き  
くなっていまして、それに費やしたために、地元を歩いて地元の良さを発見しどうやっ  
て活かして町が元気になっていくかということまで行き着くことができなかつたとい  
う部分かと思うわけです。ですから来期については、そういう方面にも力を注いで、本  
当に自分の地域、元気な地域、問題点を見つけることは、実はまちづくりではないんで  
す。いいところを見つけていいところを伸ばすところが、実はまちづくりなんです。こ  
の地域協議会は、そういう方向に向かって進んでいければと思います。

(石井委員)

最初から最後まで申し訳ないごめんなさいということで、皆さんにはお世話になりあ  
りがとうございました。2年間やってきたわけですけど、自分のできる範囲とかそうい  
う中で、少しでも地域が良くなるようなことというのになればなとも思っています。

ここでお別れということにしんみりしてますけれど、また来年進めていращやる方  
もいると思いますので、辞められるかたも地域でお会いしましたらお願いします。本当  
にありがとうございました。

(中澤副会長)

私は前任の丸山さんがご病気で、いわばピンチヒッターのような形で出させていた  
きました。皆さんのご意見を聞かせていただき勉強になりました。ありがとうございました。

自治連はご承知のように19ございまして、いわゆる自治活動と行政との掛け橋とい  
う意味で、自分の自治会のことを一生懸命進めるというのが基本的なところでは  
す。そこへ自治連という体制があり、川辺泉田、城下は城南自治連という形で19自治会長さん方が  
いろいろと進めているわけです。今回新しい試みの地域協議会に途中から参加させて  
いただき、大変皆様方のビジョンや考えをお聞かせいただきました。ただ色々お聞かせ  
いただいた中で、これは自治会としてどう取り組むべきかと、色んな共通な課題もた  
くさんありました。途中で自治連と地域協議会との意見交換を持ち、そういう機会を  
持たせていただきました。それから城南公民館の新築建て替えの委員の皆さんとも  
会を持たせていただきました。自治連の活動も大事ですが、地域協議会の皆さんと  
力を合わせて行政にお願い、協力すること、色々ございますが、そういったことが  
非常に大事ななと感じたところです。来期も自治連には、2名くらい参加して  
いただいて、協調体制でいくと



いうことを是非お願いしたいということは申し上げておきました。いずれにしても最初の段階は、自治連の方では地域協議会とはどういうことを行っているのかよく分からないという感もあり、多少行き違いもあったように感じましたが、途中から交流を持つことにより、これからは皆さんと一緒に、究極は上田市の為であったり、自分の自治会のためであったり、住んでいる住民の皆さんに関わる問題でありますので、このことは非常に大事ななどというようなことが理解し合えるようになりまして、来期からはまたもう少し違う形で、この協議会の皆さんと自治連との新しい試みが出てくるのではというそんな芽生えを感じる一年でございました。大変勉強になりました。ありがとうございます。御礼を申し上げます。

(田中会長)

それぞれ全員の皆さんに2年間の思い出や感想をいただき、大変有難うございました。私も実はこの立場にさせていただいて感銘深いものがございます。一つは、地域性だと思えます。一つは城下連合自治会、また川辺泉田連合自治会という二つの大きな自治団体の中で構成されているということと、それから人口動態の中で、上田市も多分少子化で、人口はむしろ減少するという方向にあるわけですが、その中で我が地域は確実にむしろ人口が増えているという状況にあります。そういう中で、私は私共のエリアとして考えたり議論するとするならば、若干周りの皆さんとは違うという感じがしております。例えば、JT跡地にアリオという大型の店舗が出来てまいります。それは10万㎡を超える店舗面積となり、そうなった場合果たして商業に関わる皆さんの共存というか、今まで長い歴史のある商業集積と新しくできるものとの共存ということは、残念ながら困難だと思えます。そうした場合、過日そんな話の中に松尾町商店会との会議で、「松尾町は限界集落といわれるところなんです」という風な発言がありました。中心市街地の活性化に向けて、行政にも声を掛け呼応していただきながら、地元の皆さんそして商工会議所の商工部門としても実は色んな思いで取り組んではおりますが、困難だということは間違いのないと思えます。そういう中で、この地域はどういう影響を受けるだろうと私は思います。取り組み方に大きく影響はしますが、私はこの地域はむしろ、そのことによってプラスになりうる部分があるように思います。しかし道路の渋滞を問題とするならば、放っておいて何とかなることではございません。県道77号、国道143号に至るこの道路整備、外環状線の完成をどうするかと考えた時、やはりこの地域の我々が研究しものを言って、この地域の住民生活の中で、より良い条件整備を声を出していかなければいけないと私は思います。2年間17回に渡る議論を重ねて参りました。皆さんの意見の中には、最初この会の持つ意味合いが理解できなかったという声もございましたし、後半になって会としての団結というか、まとまりが出てきたという認識をお持ちになったというご発言もございました。そういう中でこの会が当然次の2年間、その次の2年間という風に行政はやっていくわけですから、その中に我々が関わったことが、その次の皆さんに引き継がれるならば、我々の存在や活動は無駄ではなかったと思っております。

会長という立場を務めさせてもらったことに対して心から感謝を申し上げます。

(古川地域振興政策幹)

平成 18 年 10 月に第 1 回が始まりまして、今日まで至ったわけですが、正副会長さん初め委員の皆様には大変ご熱心な審議、調査、ご意見を頂きまして、この会もここまでやって参りました。大変ご協力いただきまして事務局として感謝申し上げます。また至らないところもたくさんありましたけれど、また今日のお話も来期の協議会の方につなげていければと考えております。どうもありがとうございました。

(田中会長)

以上をもちまして会は終了いたしました。大変ありがとうございました。